

② 日本語支援のコツ

発音の支援①

【文字(ローマ字)による発音支援】

音を正確に推測しやすい発音表記を使いましょう。※パソコン等の入力方法と異なる場合があります。

I) 注意が必要なローマ字表記(単音・拗音)

【正確に発音しやすいローマ字表記】

し shi	ち chi	つ tsu
しゃ sha	しゅ shu	しょ sho
じゃ ja	じゅ ju	じょ jo
ちゃ cha	ちゅ chu	ちょ cho

【間違った発音となりやすいローマ字表記】

し si	ち ti	つ tu
しゃ sya	しゅ syu	しょ syo
じゃ zya	じゅ zyu	じょ zyo
ちゃ tya	ちゅ tyu	ちょ tyo

【正確に発音しやすいローマ字表記】 ※パソコン等の入力方法との違いに注意

	発音表記	パソコン等の 入力方法		発音表記	パソコン等の 入力方法
じ	ji	ji	ず	zu	zu
ぢ	ji	di	づ	zu	du
を	o	wo			

	発音表記	パソコン等の入力方法
じゃ じゅ じょ	ja ju jo	ja ju jo
ちゃ ちゅ ちょ	ja ju jo	dya dyu dyo

II) 注意が必要なローマ字表記(長音) ※伸ばす音の母音を重ねて表記

【正確に発音しやすいローマ字表記】 ※パソコン等の入力方法との違いに注意

	発音表記	パソコン等の入力方法
おかあさん	okaasan	okaasan
スカート	sukaato	sukaato
とけい 【e+i】	toke <u>ee</u>	toke <u>i</u>
おとうさん【o+u】	oto <u>o</u> san	oto <u>u</u> san

III) 注意が必要なローマ字表記(促音) ※「っ」の後に来る子音の文字を重ねて表記

きって	kit <u>te</u>	ぶっだ	budd <u>a</u>
J-ポップ	j-popp <u>u</u>	ペット	pett <u>o</u>

※ 例外 sh ⇒ ssh はっしゃ hassha

ch ⇒ tch あっち atchi

ts ⇒ tts ココナッツ kokonattsu

発音の支援②

【促音の支援】

日本語は拍感覚も重要です。促音の指導には、以下のようなやり方があります。

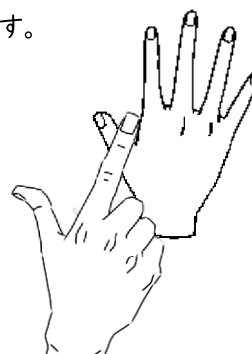
①一音ずつ手を叩きながら発音する。

例) きって ⇒ 3回 きて ⇒ 2回

②一音ずつ指、指と指の間を指しながら発音する。

親指⇒親指と人差し指の間⇒人差し指⇒人差し指と中指の間…

例) きって ⇒ 3音 (き)親指⇒(っ)親指と人差し指の間⇒(て)人差し指



★発音の支援★

発音は、「正しい発音」になるように指導するのが基本です。

しかし、それが難しい場合が多いです。

その場合、日本人が聞いて何を言っているかがわかる程度までにとどめて、次に進みましょう。

発話の支援

【長い文を言えるようになるための支援】

「Build-up 方式」：1度で全部を言わせるのではなく、小さい単位から始め、少しずつ長くしていく。

学習者に以下のような単位でリピートさせます。

例) 「目標文」:わたしは韓国の料理が好きです。

1回目: 料理が好きです。

2回目: 韓国の料理が好きです。

3回目:わたしは韓国の料理がすきです。

語彙の支援

方法①「母語の翻訳を提示する」

⇒多くの情報を一瞬で、正確に伝えることができます。

【オンライン(ネット環境がある場合)

Google や Yahoo など、さまざまな検索エンジンを利用可能

また、その他、翻訳アプリを利用しても良いでしょう。

【オフライン(ネット環境が無い場合)】

Google 翻訳アプリ:スマホやタブレットの Google 翻訳アプリに翻訳用の言語ファイルをダウンロード。

インターネットに接続した時と同じように翻訳機能が使える。

【注意】必ずしも対訳がある言葉ばかりではありません。特に、日本独自の物や文化、動詞、形容詞など。

相手の発話・使い方を見て、間違っている場合、訂正する必要があります。

方法②「実物、写真、絵、図表、ビデオなどを利用する」

⇒具体的なモノについての意味理解の支援に適している。

【実物・写真】⇒実物や写真(観光情報誌 本 雑誌 など)

【ウェブページを使った支援】⇒画像検索(Google や Yahoo など) 動画検索サイト(Youtube など)

方法③「日本語で言い換える/説明する」

⇒入門、初級レベルの学び始めたばかりの学習者に対しては困難のケースが多い。

あまりおすすめしません。

★語彙の意味理解の支援★

はじめから、全ての意味や詳細な意味を理解させようとしないことがコツです。

ついつい、全てを教えたくりますが、その時に必要な語の意味だけで十分です。

その他の意味は、つき必要な場面になったら教えるというやり方をおすすめします。

学習者からの質問に答えられない場合

学習者から語や文型、文化情報などの質問をされて、はっきりとした答えがわからず答えられない場合。

(または、調べても、その場で答えが見つからない場合)

【対処の仕方1】

①そのときの自分の考えを伝える。

②自宅に戻り、自分で調べる。もし、間違った答えを伝えてしまっていた場合は、次回、訂正する。

【対処の仕方2】

①「ちょっと、わかりません。次、教えます。」などと言って、一旦保留する。

②自宅に戻り、自分で調べる。

③次回、会ったときに、答えを伝える。